



発行 年 2 回・12,500 部  
編集・発行 海老名市教育委員会  
〒243 - 0492 海老名市勝瀬 175-1  
☎046(231)2111

# えびなの教育

## 教育長あいさつ

### 『がんばろっと』

伊藤 文康

学校の4月は、新しいにおいがします。  
 学校の4月は、にぎやかです。  
 校舎や校庭もよろこんでいるように見えます。  
 お子様のご入学、ご進級おめでとうございます。  
 はじめての学校生活、新しい学年がスタートします。

子どもたちの心の中は、不安と期待が入り混じっていますが、しかし、新たなスタートに、誰もが「がんばろっと」と思っています。

私たち大人は、そんな子どもたちの不安を和ら

げ、期待を膨らませ、「がんばろっと」という気持ちを温かく支えることだと、私は思います。

そのためには、子どもの頃の自分の気持ち呼び戻すことで子どもに寄り添うことと、子どもたちに負けないぐらいに、自分自身が「がんばろっと」思うことが必要だと考えます。

家庭・地域・学校・行政、それぞれの立場で、今年も子どもたちのために、力を合わせて、子どもたちの今と将来のしあわせのために、ともに、えびなっ子の成長を支えましょう。

今年度もよろしく願いいたします。

みんなで「がんばろっと」！

## 平成 29 年度 主な行事予定



### 1学期

- 4月
- 5日 第1学期始業式  
中学校入学式
  - 6日 小学校入学式
  - 10日 小学校給食開始(2~6学年)
  - 17日 中学校給食開始  
(弁当併用外注方式)  
★4ページもご覧ください
  - 20日 小学校給食開始(1学年)
- 5月
- 13日 海老名市 PTA 連絡協議会  
定期総会
  - 27日 小学校運動会(海老名、有鹿、  
大谷、東柏ヶ谷、杉久保、杉本)
- 6月
- 1日 学校保健会総会
- 7月
- 7日 中学校特別支援学級合同遠足
  - 18日 小学校1学期給食終了
  - 20日 第1学期終業式

### 2学期

- 8月
- 23日 ひびきあう教育研究  
発表大会
  - 28日 第2学期始業式
- 9月
- 1日 小学校第2学期給食開始
  - 16日 中学校体育祭
  - 30日 海老名市中学校総合文化祭  
(ステージ部門、~10月1日)  
小学校運動会(柏ヶ谷、有馬、  
上星、門沢橋、社家、今泉)
- 10月
- 15日 小学校運動会(中新田)
  - 18日 中学校合唱祭・合唱コン  
クール(~26日)
  - 27日 小学校連合運動会
- 11月
- 9日 学校保健研究協議会
  - 11日 家庭と地域の教育を考えるつどい

- 16日 小学校特別支援学級合同宿  
泊体験学習(南部、~17日)
- 12月
- 20日 小学校2学期給食終了
  - 22日 第2学期終業式

### 3学期

- 1月
- 9日 第3学期始業式
  - 12日 小学校第3学期  
給食開始
  - 26日 海老名市中学校  
総合文化祭  
(展示部門、~29日)
- 3月
- 9日 中学校卒業式 \*
  - 19日 小学校第3学期  
給食終了
  - 20日 小学校卒業式 \*
  - 23日 修了式

\*は予定の日がちです。

## 平成29年度 主な事業と予算

平成 29 年度の市教育委員会の予算と新規・充実事業をお知らせします。  
平成 29 年度の市教育委員会の予算総額は約 26 億 9,200 万円、市の一般会計予算の 6.7%を占めています。平成 28 年度と比較すると、2.9%増額になっています。



### ■児童生徒の英語力を強化 外国語教科推進事業 3,981 万円

小学校の外国語の教科化、東京オリンピック・パラリンピック開催の 3 年後を見据え、児童・生徒の英語力を強化し、グローバル化・国際社会の中で活躍する人材を育成するため、小中学校教員の資質・授業力の向上を図り、児童生徒のコミュニケーション力の向上を推進します。



### ■子どもの9年間 つなげます 小中一貫教育推進事業 1,301 万円

小中学校 9 年間のつながりをつくるため、同じ中学校区の小中学校教職員が、目指す児童生徒像を共有しながら、小中学校教職員同士や、児童・生徒同士の交流を行い、中学生の「自己有用感」や小学生の「中学生への憧れの気持ち」を育みます。

※3 ページ下段の記事もご覧ください。

### ■「持続可能で夢のある」コンセプトに 学校施設再整備計画の策定 876 万円

「長寿命化」「再編成」「地域に愛される学校づくり」の3点を策定ポイントとして、持続可能で夢のある「学校施設再整備計画」を策定します。

### ■就学援助認定基準引き上げ等を実施 子育て支援・保護者の負担軽減 3 億 4,000 万円

学童保育事業の運営に関する補助支援を拡充するとともに、学童保育を必要とする就学援助世帯に対し保育料を補助します。また、就学援助制度については、認定基準を引き上げ、併せて支給時期の前倒しを実施します。（就学援助費は 4 月に、新入学用品費は、小学校 6 年生の 1 月に支給）



### ■一人一人に合わせた支援を充実 支援教育の充実 1 億 1,497 万円

補助指導員・介助員・看護介助員や日本語指導講師・言語聴覚士を派遣し、児童生徒一人一人に合わせた支援を充実させます。また、学校訪問相談員・スクールソーシャルワーカーなど心理面や環境面のサポート体制を整えます。

## もしものために… 海老名型 小中学生安心フルサポート体制

市教育委員会では、平成 29 年度から、学校に責任があると認められない、児童・生徒の個人責任となる場合（右事例参照）に備え、賠償保険に加入します。

教育委員会では現在、学校管理下における不慮の事故に備えて、市立小・中学校の全児童・生徒を対象にした賠償保険（日本スポーツ振興センターおよび学校災害賠償補償保険）に加入していますが、これらの保険は、学校に責任がないケースに対応できないことが課題となっていたことから、今回加入することになったものです。

また、市立中学校の 3 年生は、全員「入試関係限定保険」に加入しています。高等学校等の入学試験や就職試験、合格発表に赴く際、不慮の事故等でけがをした場合や第三者にけがを負わせたり、物的損害を与えたりしたときに適用されます。

学校管理下でこれまでの保険が適用されない事例

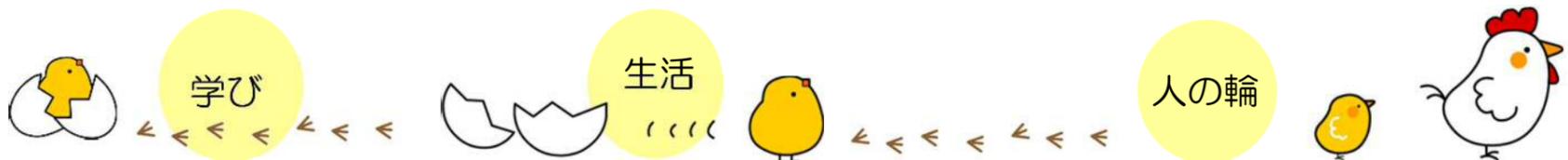
ケース 1  
休み時間に子ども同士がふざけあい、後ろにいた子どものメガネを壊してしまった。

ケース 2  
修学旅行中にまくら投げをして、旅館の窓ガラスを割ってしまった。

ケース 3  
自転車で部活動の試合へ向かう際、通行人とぶつかり、けがをさせてしまった。



## 進めていきます、海老名市小中一貫教育



海老名市では、平成 29 年度から、すべての市立小・中学校で小中一貫教育を進めていきます。

海老名市の目指す小中一貫教育は、現時点で小学校と中学校がひとつの学校（義務教育学校）にすることではなく、「小学校と中学校が力を合わせて 9 年間で子どもたちを育てる教育を行う」というものです。それぞれの中学校区で次のような取組を行います。

### ● 9 年間の「学び」をつなげます



同じ地域の小学校と中学校が「どのような子どもたちを育てたいか」を一緒に考え、目標をつくります。また、教職員がお互いの指導方針・方法を知り、9 年間の学習や生活がスムーズにつながるようにします。

◀ 学びのつながりを相談する小・中学校教員

### ● 9 年間の「生活」をつなげます

児童・生徒の交流活動を行い、小学生の「中学生への憧れの気持ち」、中学生の「自己有用感（集団の中で、自分が大切な存在であると認識すること）」を育てます。



児童と工作する生徒 ▶

### ● 9 年間の「人の輪」をつなげます

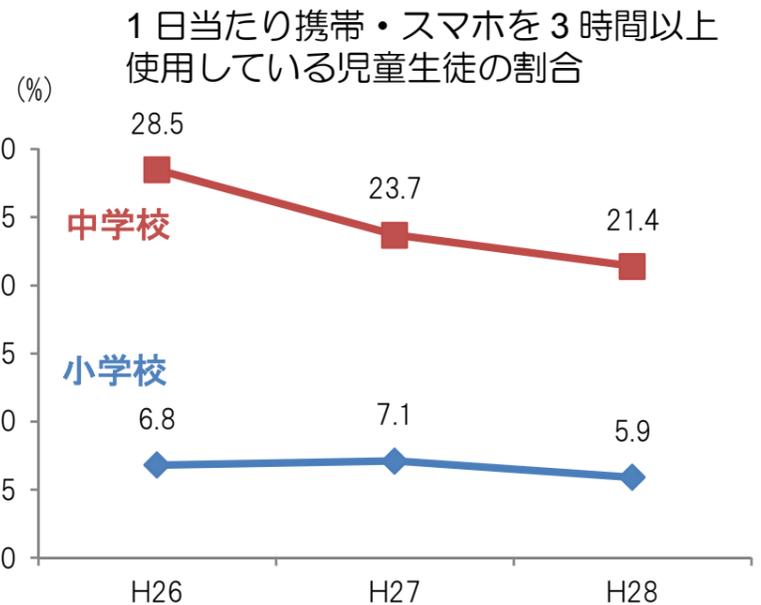
子どもたちを中心に、学校と保護者・地域がつながり「ともに地域の子どもたちを育てる」コミュニティをつくります。長い時間をかけて進めていく取組です。数年間をかけて作り上げていきます。

## スマホ・携帯電話のトラブル等防止へ 家庭での話し合い・ルールづくりを

携帯電話やスマートフォン（スマホ）は、子どもにとっても、身近なインターネット・SNSのツールとして定着しています。平成 28 年度の調査では、市内小学 6 年生の 5.9%、中学 3 年生の 21.4%が 1 日に 3 時間以上携帯・スマホを利用していることが明らかになりました（右グラフ）。

過去 3 年間の推移をみると、その割合は低下傾向にあり、これは、家庭でのルールづくりの定着や、児童生徒自身の自制心の向上の現れととらえています。

市内小・中学校では、携帯・スマホなどの端末の学校への持ち込みを基本的に許可していません。学校では、情報モラル教育等を行っていますが、ネットトラブル等を防ぐためには、ご家庭のご理解、ご協力が不可欠です。



▲平成 28 年年度全国学力学習状況調査・海老名市の結果から



便利さや楽しさの裏側にあるリスクを理解し、自分で行動できる力と態度を身に付けるために、各ご家庭で、お子さまと一緒にインターネットや SNS の特徴や仕組み、モラルや利用時間のルールづくりなどを話し合う機会をお持ちください。

## 市立中学校の学校給食 「弁当併用外注方式」で実施しています

海老名市では、市内全 6 中学校で「弁当併用外注方式」による学校給食を実施しています。

これは、ご家庭からの「持参弁当」と、市専任の栄養士が献立を作成し、業者に調理・配送を委託した「配食弁当」のどちらかを選択して学校給食とするものです。

配食弁当は、専任の栄養士が、栄養バランスに配慮して、旬の食材を使い、1 か月単位で献立を作成し、米飯（またはパン）とおかずに分けて配膳されます。保護者負担額は、1 食当たり 250 円です。

この方式は、相模原市、座間市、藤沢市、愛川町など、県内の他自治体でも採用されており、市としても、継続してまいります。

申し込み方法等、詳しくはお問い合わせください。



◀ 配食弁当の一例。グリルチキンのトマトソースがけ、ひじきとコーンのかき揚げなど 4 品に米飯がつきます。

## 海老名歴史さんぽ 販売開始

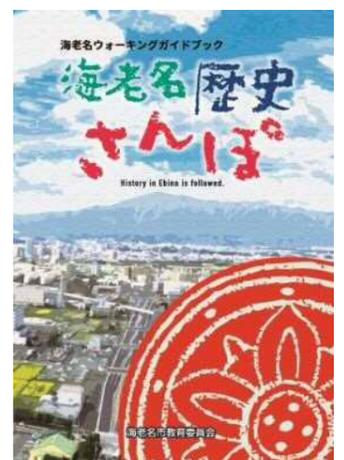
海老名ウォーキングガイドブック「海老名歴史さんぽ」を発売します。

市内の歴史・文化財・観光ポイントを巡るガイドブックで、歩きながら史跡巡りや観光を楽しむことができます。

ウォーキングコースは 10 種類を掲載。各コースのポイントをわかりやすく解説しています。お気に入りのコースを見つけて、春の散歩にでかけてみては。

また、夏休みの自由研究にもぴったりです。

- ▼ 定価  
200 円（消費税込み）
- ▼ 販売場所  
市役所、温故館、歴史資料収蔵館などで 4 月中旬から販売予定



次号の「えびなの教育」は平成 29 年 10 月発行予定です